

**自己負担
なし**

介護ロボット・ICT トライアル導入支援事業

福岡100
人生100年時代への
チャレンジ

介護ロボット・ICTの導入に関心がある事業所の方のご応募をお待ちしております！

【特徴】 介護ロボットやICT機器を一定期間無償で貸し出し

【トライアルの流れ】

- ①事業所の課題に応じてトライアル機器を選定し、導入計画書を作成
 - ②出張展示会（職場を想定）で介護職員と一緒に介護ロボットを体験
 - ③一定期間のトライアルを実施
- ⇒介護ロボット等の導入にあたり適宜事務局と相談が出来る環境を用意いたします！

対象 ▶ 福岡市指定介護サービス事業所

定員 ▶ 7事業所 ※申込締切後に選定
(締切は下記HPに記載)

対象機器 ▶ 厚生労働省と経済産業省が定める
「ロボット技術の介護利用における
重点分野」の6分野13項目

貸出期間 ▶ 2023年1月末までの間で
必要な期間(予定)

参加条件 ▶ 事業計画書を作成すること
尚、介護ロボットエキスパート養成講座に
参加する事業所を優先とする

申込方法 ▶ 下記URLまたは右側の二次元コードにアクセスいただき、
ご確認のうえメールにて申請書をご提出ください。
<https://www.nttdata-strategy.com/r4kaigoroboex.html>



昨年度の出張体験展示の様子



事業主体：福岡市

事務局：株式会社NTTデータ経営研究所

(本事業に関するお問い合わせ)

Email : kaigorobotex@nttdata-strategy.com

TEL : 03-5213-4171

株式会社NTTデータ経営研究所 先端技術戦略ユニット

担当：金尾翔悟 大塚恒治

▶ 注意事項

- 機器の選定については、事務局との協議を経て決定いたします。
- 職場等にて複数の機器の出張体験展示を実施します。
- その他、詳細については下記公募サイトをご覧ください。
<https://www.nttdata-strategy.com/r4kaigorobotex/>

▶ 対象機器のイメージ

機器については協議しながら適切な機器をお試しできるようにいたします。対象機器は、介護ロボットの試用貸出リスト（厚生労働省「福祉用具・介護ロボット実用化支援事業」）を参考にご検討ください。また、昨年度のトライアル対象機器は以下の通りでした。

分類	会社名	機器名
移乗機器	株式会社 F U J I	移乗サポートロボット Hug T1
見守り機器	株式会社ラムロック	みまもりCUBE –システムLight–
見守り機器	ノーリツプレジジョン株式会社	見守りシステム Neos + Care（ネオスケア）
見守り機器	株式会社ツカモトコーポレーション	Algo Sleep見守りセンター
見守り機器	パラマウントベッド株式会社	見守り支援システム「眠りSCAN」
見守り機器	エイアイビューライフ株式会社	A.I.Viewlife
見守り機器	キング通信工業株式会社	シルエット見守りセンサ
コミュニケーション	富士ソフト株式会社	PALRO 高齢者福祉施設向けモデルⅢ
排泄支援機器	トリプル・ダブリュー・ジャパン株式会社	排尿予測デバイス「DFree」
デジタルインカム	株式会社サイエンスアーツ	Buddycam
デジタルインカム	株式会社エクサウィザーズ	ハナスト

①介護ロボットの試用貸出リスト

（厚生労働省「福祉用具・介護ロボット実用化支援事業」）

https://www.kaigo-pf.com/media/trial_list.pdf

②「介護ロボット・ICTトライアル手引き・導入事例書」

<https://www.city.fukuoka.lg.jp/data/open/cnt/3/95928/1/robot001.pdf?20220421090346>



【昨年度参加者の声】

本事業は、講座とセットで実施する事で効果が発揮されると思われま。導入計画書の作成は、介護ロボット・ICT機器の導入経験がない施設では煩わしいと思われま。しかし、機器の導入は課題の「打ち手」である事を意識する必要があります。また、出張体験展示は、忙しい介護職員に複数の機器を体験いただくことが可能で。現場の職員に機器の事を知っていただくことで現場を巻き込んで機器の導入が出来るので、我が事化として職員全員で機器の導入に取り組むことが可能になりました。



社会福祉法人さわら福祉会 特別養護老人ホームマナハウス
施設長 小金丸誠様